

第6回市民と議会の意見交換会開催報告

1. 日時

平成30年5月20日（日） 午後2時00分 ～ 午後3時33分

2. 場所

図書館3階大会議室

3. 説明員

議長	福島和人		
副議長	進藤裕之（司会）		
議会運営委員長	八木浩		
議会運営委員等	西條利洋	小原明大	
	白石多津子	三木常照	
	綿谷正己	富岡浩史	
	山本智		

4. 来場者

市民（14人）

報道（1人）京都新聞社

5. 出席議員（10人）

広垣栄治	寺嶋智美	富田達也
宮小路康文	中小路貴司	田村直義
浜野利夫	上村真造	石井啓子
大伴雅章		

6. その他の出席者

議会事務局（6人）

7. 内容

(1) 開会の挨拶〔福島和人議長〕

(2) 平成30年度予算審議を含む3月議会を終えての議会報告

〔八木浩議会運営委員長〕

(3) 各会派からの議会報告

〔日本共産党長岡京市議会議員団・小原明大議員〕

〔輝・綿谷正己議員〕

〔日本維新の会と市民派の会・西條利洋議員〕

〔平成市民クラブ・三木常照議員〕

〔平成西山クラブ・白石多津子議員〕

〔公明党長岡京市議会議員団・山本智議員〕

〔平成自由クラブ・富岡浩史議員〕

(4) 3月議会報告への参加者からのご質問、ご意見

【予算案に対する具体的な会派の見解は】

○**市民** 現市長の任期中の最後の予算。行政側（理事者側）としては最後の締めくくりの予算。議会側としてはどういうふうなチェックをされていたのかが先ほどの報告だと思う。予算審査常任委員会の総括質疑で、各会派で今回の予算案についてこういう点に注目して、こういう内容を実際に質疑して、こういうような答弁を理事者側から得て、それを受けてこういうふうな意見、考えを持って賛成・反対したという具体的な例があればお聞きしたい。総合的なことについてはよく分かった。今回、各会派でこういうところ注目したという、もう少し掘り下げたところを聞ければ。

○**小原明大議員（日本共産党）** 共産党は一般会計予算に反対。国が決められているから、ある程度市が従わざるを得ないという部分も含めて、地方からも声を上げて、変えるべきは変えていってもらうことが大事。国政に対する姿勢ということも大事にしている。国が制度を変えることで、市民にとって悪影響が出る部分は反対せざるを得ないが、市民にとって良いことならば賛成するし、悪影響が出るものについては極力悪いことが小さくなるような立場で頑張っている。

○**綿谷正己議員（輝）** 予算の総括質疑では、BCP（事業継続計画）やタイムライン、ハザードマップといった防災に関することを質疑したり、第4次総合計画の第1期から第2期に向けての基本計画に対する市長の思いや、誰もが共に自分らしく暮らす長岡京市障がい者基本条例に対する各部署の具体的な計画を質したうえで、予算案に賛成した。

○**西條利洋議員（日本維新の会と市民派の会）** 予算の総括質疑では、庁舎建て替えについて、なぜ建て替える必要があるのかを強く追及した。また、道の駅的施設については、こちらも本当に必要なのかを質した。道の駅的施設設置検討会で複数回検討したうえで今後議論していくということで、今の時点では市長も道の駅的施設を進めるかどうかという明言はしていない。このことに関しては、今後検討するというところで納得した。

○**三木常照議員（平成市民クラブ）** 庁舎については、今の庁舎の狭さからも執務しにくいことは容易に想像できる。耐震、費用の問題もあり、安くてもいいものができれば一番だが、最低価格であったとしてもそれなりの金額はするものと考えている。防災の観点からは、災害があった時にラジオでも情報が届けられるよう、コミュニティFMの支援に力を入れたい。また、長岡京市の市道について、通学路の安全を守るためにも歩車分離や歩道の拡幅に力を入れていきたいと考えている。

○**白石多津子議員（平成西山クラブ）** 予算審議については、毎回是々非々で判断している。バンビオ広場公園のにぎわい創出に向けて、その整備方針について質問した。日陰については、地元企業よりも多額の寄付があり、設置されることになった。また、行財政改革アクションプランの中で、市長が掲げる稼ぐ力ということは具体的にはどういうことかということや、国民健康保険の広域化について、待機児童の解消についてなど様々な議論をしたうえで、今回の予算に賛成をした。

○**山本智議員（公明党）** 一般予算を含めて是々非々で議論した。防災については防災備蓄品の備蓄状況や賞味期限が近い備蓄品の用途について、また、ごみ問題として給食の調理屑の再資源化について質問し、市としては対象施設を順次広げていくとの回答を得た。その他、いろいろ議論をし、納得したうえで予算に賛成した。

○**富岡浩史議員（平成自由クラブ）** 平成自由クラブにおいては、市政運営について、基本的には是々非々で談議をしている。過去からの経過を一番大切にし、十分に理解したうえで、先輩議員からの引き継ぎも含めて質疑をしている。基本的には市民福祉、市民生活の向上と充実を考えると、予算やその執行に対して、予算やまちの停滞などを避けるために、理事者側と納得できるまで十分な議論を尽くした。ハード面、ソフト面においてもタイムリーな質疑を心掛け、今年度予算に賛成した。

【庁舎建て替えの際にはバリアフリー配慮を】

○**市民** 庁舎の建て替えの際には、予算が余りかけられないのもわかるが、高齢者が庁舎を利用しやすいようにするためにも、バリアフリーをしっかりとしてほしい。また、庁舎を建て替え職員の働く環境が向上すれば、働く意欲が高まり、その分市民にも返ってくると思う。

○**八木浩議員（議会運営委員長）** 予算に関わらず、バリアフリーはもちろんのこと別の分野でも言い続けていくことが議会としての仕事だと思っている。障がいをお持ちの方々の御意見をお聞きし、ハード面、またソフト面についても市の事業が進められるよう、頑張っていきたい。

(5) 議会改革についての報告

〔八木浩議会運営委員長〕

(6) 議会改革、議会についての参加者からの質問、意見

【傍聴用資料とは】

○市民 議会改革の中で傍聴用の資料についても述べられていたが、具体的にはどうのことか。

○八木浩議員（議会運営委員長） かつては傍聴に来ていただいても閲覧できる資料はなかったが、平成24年度からは本会議や常任委員会などで議論している資料を、傍聴者の方にも閲覧していただけるようしている。

【委員会の審議内容を事前に知ることはできないか、動画配信の導入は】

○市民 委員会で審議されるテーマや内容について、事前にPRするなどして知ることはできないか。また、委員会も本会議と同じように動画配信をするという議論が以前出ていたが、その進捗状況は。

○八木浩議員（議会運営委員長）・進藤裕之（議会運営委員会副委員長） 委員会の所管事務調査のテーマは、各常任委員会で改選・役選で委員会の構成メンバーが変わる2年ごとに定めており、現在の各委員会のテーマは、総務産業常任委員会は「まちの魅力発信について」、建設水道常任委員会は「誰もが移動しやすいまちづくりについて」、文教厚生常任委員会は「2025年問題について」である。

議案などの審議内容については、本会議の一般質問の2日目の資料に議案付託表があり、どの委員会でどの議案を審査するのかが分かるようになっている。ただ、現在は閲覧資料以外では公開していないので、事前にホームページでもアップできないか前向きに議会運営委員会で検討していきたい。

委員会の中継に関しては、現在の委員会室に機器を導入するのは予算的にも難しく、低予算でできるユーチューブやユーストリームではセキュリティー的に難しいため、やはり新庁舎に移行する際には委員会室でも中継できるように要望をかけていくべきではないかということで、継続して検討している。

【市のためになると思った自分以外の議員の質問や理事者の答弁は】

○市民 傍聴者からすると議員がどんなスタンスでこの議会、委員会、総括質疑などに立っているのかに、すごく興味がある。どういう姿勢かというところにかかわるが、議員自身が質問される以外で、この議員のこの質問

が、市議会もしくは長岡京市にとってすごいプラスになっている質問だとか、もしくは理事者側の答えで、これは長岡京市にとってすごくプラスになった答弁だなどと言えるような例がもしあるのなら聞きたい。

○**進藤裕之議員（議会運営委員会副委員長）** ほかの議員の一般質問などは、すごく参考になるし、勉強になる。やはりどうしても個人としてのある一定の方角、見方しかできていない部分があるので、いろいろな観点で、同じ内容でもこういった観点を質問ができるのだなという意味合いで、本当にほかの議員の一般質問というのはすごく参考にしている。

【セクシャルマイノリティを議員政策研究会のテーマに(要望)】

○**市民** 長岡京市が男女共同参画の社会になってみんなが暮らしやすくなったらいなと思ひ、ずっと20年ほど活動してきている。本市では12月に小原議員がマイノリティでということでカミングアウトされた。やはりマイノリティとはいえ一定の割合の方はおられるので、その方たちの居場所が、ちゃんとこのまちでもほしいなと思ひている。特に議員の方たちみんなで取り組んでいただきたいなと思ひるので、議員政策研究会でもぜひテーマとして勉強していただいて、またその結果を市民にも公開で一緒に勉強するというような機会をつくっていただきたいなと思ひ。要望としてお願いしたい。

【一般質問などにも時間制限を】

○**市民** 一般質問などで質問される際、質疑が長時間におよぶ議員がいる。要約筆記や手話通訳をお願いしようと思ひても、聞きたい議員の方がいつ質問するのか時間が読めなくて困る。以前からもお願いしているが、一般質問でも時間制限を設けるか、一般質問の際には時間を意識して質疑を行ってほしい。

○**八木浩議員（議会運営委員長）** 科学の進歩により、今では話したことがそのまま文字化されるようなものもあり、その精度も高まってきている。持ち込んだパソコンなどでそういう対応が取れないかも含めて要望していきたい。また、質疑の内容によっては答弁の範囲がすべての部署にかかわるようなこともあり、答弁に時間がかかることもあるため、長岡京市議会では一般質問に時間制限をかけていない。ただ、なるべく端的に質疑が行われるよう、議員同士で協力しながら進めていくことで理解を統一したい。

【待機児童対策は】

○**市民** 市長は待機児童ゼロにするって最初は言っていたとは思ひが、最近市長は魅力なまちや観光ばかり言っているような感じがして、待機児童をゼロにする気あるのかと思ひが、どうなのか。

○八木浩議員(議会運営委員長)・進藤裕之議員(議会運営委員会副委員長)

市長は、子育て含めてあらゆる面で若い世代を一番に考えていると常々おっしゃっており、魅力を発信してより長岡に住みたいという方が、ありがたいことに年々ふえている。ふえるということは、解決できるなと思った以上に、間に合わないスピードで人がふえ、それ以上の待機が出てしまう。待機児童減らしてはいるが、ゼロを目指して頑張っていくように、私たちも言っていきたい。

また、本年度の予算では、保育所関係についてはトータルで20億近くのお金を費やして、待機児童に対応していこうとしている。ただ、今それに追いついていないというのが現状であるが、待機児童の解消については何とかゼロに向けて、尽力頑張っているということで御理解いただきたい。

(7) 閉会の挨拶 [進藤裕之副議長]